

山形県研究評価委員会における評価結果について

◆平成28年9月から平成29年8月までの評価実績

- ・平成29年度当初予算関連課題の事前評価（177課題）
 - ・平成29年度若手チャレンジ研究課題の事前評価（9課題）
 - ・平成29年度新規公募予定課題の事前評価（15課題）
- 201課題
- ・平成28年度完了課題の事後評価（49課題）→ 優秀研究課題の選定（5課題）

【山形県研究評価委員会】

研究開発資源の効率的かつ効果的な活用を図ることを目的として、平成15年に設置。
学識経験者、マーケティングの専門家など8名の委員で構成。

若手チャレンジ研究の採択課題の選定、実施試験研究課題の事前・事後評価および優秀課題の選定等を実施。

研究評価結果の概要

1 平成29年度事前評価

	評価結果				計
	A	B	C	D	
一般研究課題	26	66	19	0	111
若手チャレンジ研究課題	3	5	1	0	9
計	29	71	20	0	120

	可	不可
公募型研究課題(継続)	27	0
公募型研究課題(新規)	15	0
業務課題	39	0
計	81	0

↓
201 課題

----->

2 平成28年度事後評価

	評価結果				計
	A	B	C	D	
試験研究課題(一般、公募)	16	16	7	0	39
若手チャレンジ研究課題	1	2	3	0	6
業務課題※	4	0	0	0	4
計	21	18	10	0	49

優秀課題
4
1
0
5

※研究性の高い課題

【課題区分】

一般研究課題：県独自の事業として取り組んでいる課題

公募型研究課題：公募により外部資金を調達して取り組んでいる課題

業務課題：県が経常的に取り組んでいる課題、あるいは外部からの依頼を受けて取り組んでいる課題

若手チャレンジ研究：若手研究者(40歳未満)を対象にした県独自の課題

【事前評価結果区分】

A：研究計画が適切で、研究の展開が大いに期待される課題

B：研究計画は概ね適切であり、研究の展開が期待される課題

C：研究計画は概ね適切であり、内容を精査することにより、研究の展開が期待される課題

D：研究計画の大幅な見直しが求められる課題

可：業務課題においては、業務計画が適切であり、実施すべき課題

公募型研究課題にあつては、計画が適切であり、提案を妥当とする課題

不可：業務課題にあつては、業務の内容や目標の設定など業務計画を見直したうえで実施すべき課題

公募型研究課題にあつては、研究の内容や目標の設定など計画の見直しが求められる課題

【事後評価結果区分】

A：目標を大きく上回る成果を得ており、今後、成果の活用や研究の発展が大いに期待できる課題

B：目標を上回る成果を得ており、今後、成果の活用や研究の発展が期待できる課題

C：おおむね目標とした成果を得ており、今後の展開が求められる課題

D：目標とした成果を得ることができず、今後の展開については大幅な見直しが求められる課題